



事業計画及び 成長可能性に関する事項

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード：6545>



わたしたちのサービスで、“**健康寿命の延伸**”を。

- **IIF Vision2030** : リアル×テクノロジーの活用で、『健康な未来』の実現に向けて成長を加速
- **2027/3期計画** : 売上高5,066百万円（23/3実績比13%増）営業利益538百万円（同359%増）

事業環境

- 高齢者人口（特に軽度介護認定者）が大幅に増加
- それに伴い、医療費・介護費などの社会保障費も大幅に増加
- 健康寿命と平均寿命の差が約10年あり、この差を縮めることが日本の課題に

事業内容

- リハビリ型デイサービスは他の介護事業と比べて店舗数が少なく将来性が高い
- 介護認定の改善効果があり、社会保障費増大に歯止めをかける役割を担う
- 介護保険制度のキーマンであるケアマネジャーを支援するポータルサイトを運営

成長戦略

- レコードブックの全国400店舗を早期達成し、店舗プラットフォームを構築
- 蓄積したデータにAI・IoTを掛け合わせ、健康寿命延伸ソリューションを創出
- アクティブシニアから中重度要介護高齢者まで、全ての領域に展開

注：IIFは、当社インターネットインフィニティグループの略記

1.	会社概要	P. 3
2.	利益計画	P. 9
3.	事業環境	P.14
4.	事業内容	P.20
5.	成長戦略	P.37
6.	リスク情報	P.44

1. 会社概要

コーポレートスローガン<経営理念>

健康な未来

インターネットインフィニティーの使命（ミッション）

「創意革新と挑戦による、超高齢社会における課題解決」

会社名	株式会社インターネットインフィニティー
設立	2001年5月7日
資本金	252,302,686円（2023年3月31日現在）
本社所在地	〒141-0032 東京都品川1年区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー4階
代表者	代表取締役社長 別宮 圭一
従業員数	連結374名（正社員）（2023年3月31日現在）
上場市場	東京証券取引所 グロース市場 （証券コード 6545）
連結子会社	株式会社フルケア 株式会社カンケイ舎 株式会社正光技建

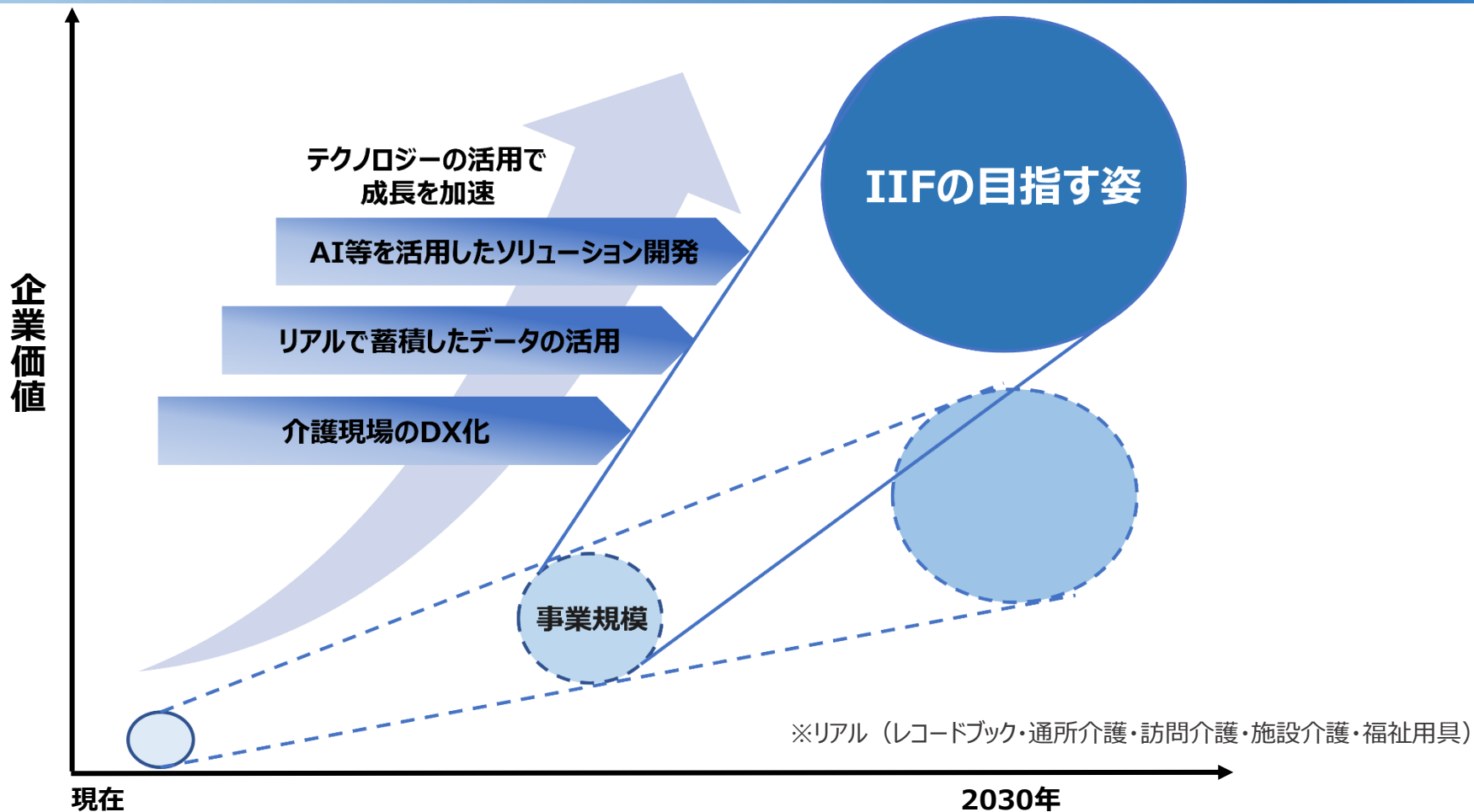
ISMS認証取得



当社は2016年1月に一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）のISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）適合性評価制度の審査に合格し、認証登録をしています。

- 認証登録番号 JP16/080384
 - 認証登録範囲
1. シルバーマーケティング支援事業
 2. 仕事と介護の両立支援事業
 3. 会員顧客満足度の向上支援事業

『健康な未来』を実現するために、
「超高齢社会における課題解決」を重要なミッションと位置づけ
既存事業を拡大するとともに、今後はテクノロジーを活用することで成長を加速していきます。



※前回（2022/6）開示しておりました「中期ビジョン2025」及び「中期戦略における重点戦略」については、
コロナ禍の収束を機に再整理し「IIF Vision2030」として改め、公表しております。

取締役



代表取締役社長 別宮 圭一

(昭和47年4月5日生)

略歴／ヘルスケア事業参入の経緯

IT企業でコンピューター書籍や電子商取引サイトの法人営業に従事。その後、インターネットは人々の生活に不可欠となると考え、システムインテグレーション事業を目的に当社を設立。当時、介護ビジネスを手掛ける会社からシステム構築依頼を受けたことをきっかけにヘルスケア業界においてインターネットを活用したビジネスの可能性を見出し、高齢者市場に専門特化したヘルスケア事業を開始。

取締役副社長 小川 一誠

三菱商事株式会社入社、株式会社ライフタイムパートナーズ代表取締役社長、株式会社日本ケアサプライ経営企画室長、株式会社ローソン理事執行役員ヘルスケア本部長などを歴任し、2019年12月当社入社、2020年6月取締役副社長に就任

常務取締役 藤澤 卓

株式会社アスキー入社後、2001年5月当社入社。介護事業本部長兼在宅サービス事業部長を務め、2005年3月取締役就任。株式会社フルケア、株式会社正光技建の代表取締役社長を兼任

常務取締役 星野 健治

あずさ監査法人入社後、2013年8月当社入社。公認会計士の資格を活かし、当社入社後IPOに携わる。経営管理部長を務め、2016年3月取締役就任

取締役（社外）

取締役
金子 博臣

社外

三菱商事株式会社入社、同ヒューマンケア事業本部ライフケア事業ユニットマネージャー、株式会社日本ケアサプライ代表取締役社長、一般社団法人日本福祉用具供給協会理事等を歴任。2020年6月 当社取締役就任

監査役

常勤監査役
衣川 信也

社外

三楽オーシャン株式会社(現メルシャン)入社、新日本証券株式会社(現みずほ証券)等を経て、2015年6月 当社常勤監査役就任

監査役
佐藤 雅彦

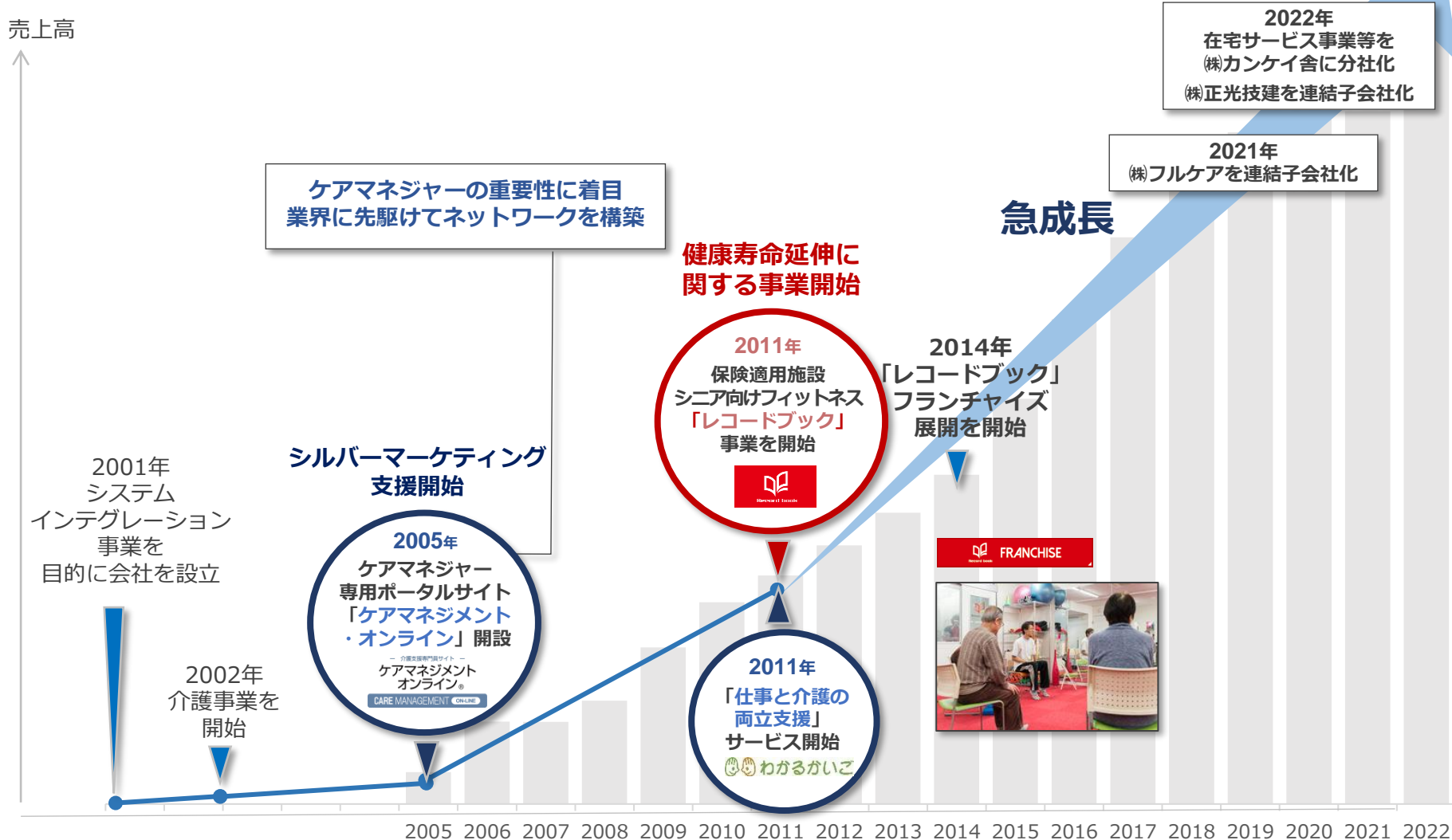
社外

1997年4月弁護士登録、高瀬法律事務所入所。2015年4月viola法律事務所を開設、同事務所所長(現任)。2016年6月 当社監査役就任

監査役
渡邊 龍男

2014年6月 当社取締役就任、2020年6月 当社監査役就任。株式会社オールアバウト常勤監査役、株式会社ワイヤレスゲート社外取締役(監査等委員)、株式会社CAC Holdings社外取締役等を兼任。

リアルとWebの両輪で、新たなヘルスケアサービスを展開



2. 利益計画

ヘルスケアソリューション事業

42.3% 1,887百万円

レコードブック事業

運動指導に特化した3時間の
リハビリ型デイサービスを提供

Record book



在宅サービス事業

29.7% 1,327百万円

在宅サービス事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 通所介護事業
- 施設介護事業
(株)カンケイ舎が運営



豊かな日常生活のお手伝い
フローバークアステーション

わかるがいご
相談センター

IIFグループ
売上構成比

2023年3月期

233百万円 **5.2%**

Webソリューション事業

- シルバーマーケティング支援
- 仕事と介護の両立支援
- メディカルソリューション

介護支援専門員サイト
ケアマネジメント
オンライン

CARE MANAGEMENT ONLINE

仕事と介護の両立支援サイト

わかるがいご Biz

22.8% 1,015百万円

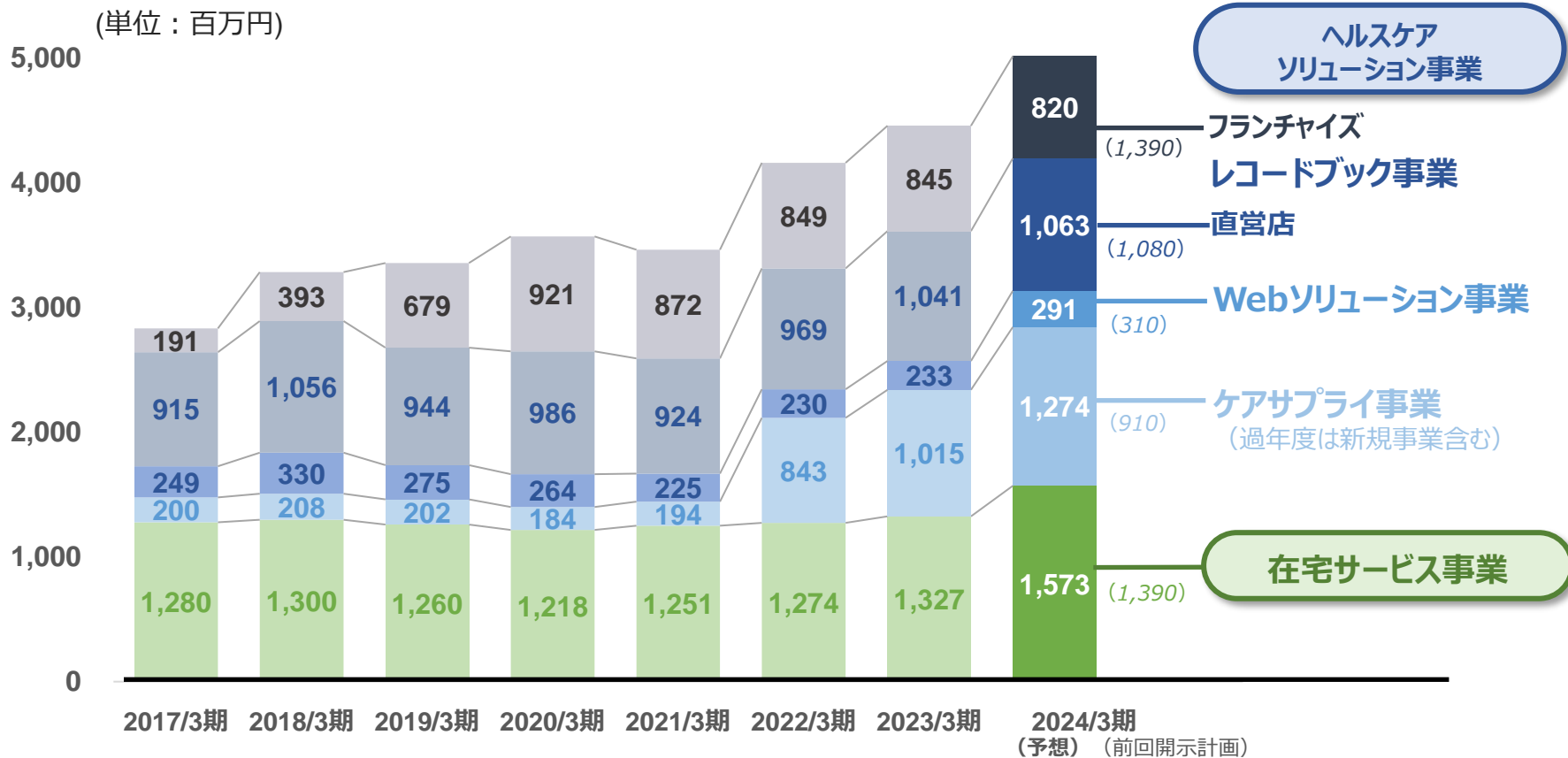
ケアサプライ事業 (名称変更予定)

- 福祉用具のレンタル・販売
- 住宅リフォーム

(株)フルケア、(株)正光技建、(株)カンケイ舎が運営



セグメント別売上推移



前回（22/6）開示時点の23/3期予想は、新型コロナウイルス感染拡大の波を考慮しない前提のもと策定し、売上高4,421百万円、営業利益315百万円、親会社株主に帰属する当期純利益203百万円でした。実績との差異の要因は以下の通りです。

売上高は、レコードブック事業を中心に感染症第7～8波の影響により店舗の一時休業や、フランチャイズの増店計画の遅延などにより、予想比で減少いたしました。ケアサプライ事業及び在宅サービス事業は、期中に実行したM&Aの効果により増加いたしました。営業利益はこの影響に加え、M&A関連費用を含む構造改革費用等の先行投資などにより増加し、予想比で減少いたしました。

経営指標の推移

当社の主要経営指標はROE及び売上高営業利益率であります

高付加価値サービスの提供による利益率向上を目標とし、それによりROEを高めてまいります

今後は、成長投資と株主還元の両立を図りつつ、資本効率を向上させてまいります

経営成績及び財政状態を勘案のうえ、連結配当性向20%を目途に24/3期期末より配当開始を予定しております

前回（22/6）開示と比較して、売上及び利益が減少しております

- **売上高**・・・フランチャイズ加盟店の増店計画の見直し等により、レコードブック事業の売上高が減少（p.13参照）
- **営業利益**・・・23/3期出店計画未達に伴う計画見直しによる減少に加え、人材確保のための給与制度改革等の子会社独自施策による費用増加見通し等を踏まえ、利益計画を修正（p.13参照）

(単位：百万円)	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
	----- 実績 -----				---予想---	----- 計画 -----		
売上高	3,575	3,468	4,168	4,464	5,022	4,880	4,850	5,060
(前回開示)	-	-	-	4,421	5,080	5,630	5,900	-
営業利益	216	165	156	99	172	350	420	540
(前回開示)	-	-	-	315	540	650	750	-
純利益	122	150	186	35	106	230	280	500
(前回開示)	-	-	-	203	355	427	492	-
ROE (%)	14.7	16.1	15.0	2.8	7.9	15.6	16.3	17.9
(前回開示)	-	-	-	15.1	21.8	21.2	20.0	-
売上高営業利益率(%)	6.1	4.8	3.7	2.2	3.4	7.2	8.7	10.6
(前回開示)	-	-	-	7.1	10.7	11.7	12.9	-
EPS (円)	22	27	34	6	19	43	51	65
(前回開示)	-	-	-	37	65	78	90	-

※当社は2022年3月期より連結決算を開始しておりますため、2021年3月期以前については単体の業績を記載しております。

※2025年3月期以降の計画値は、既存事業の積み上げから算出しており、新規事業やM&Aによる売上等は織り込んでおりません。

※2024年3月期の予想値は、2023年5月15日開示の決算短信にて開示済の業績予想値で、2025年3月期以降の計画値はこの予想を計画通り達成することを前提としております。なお、四半期ごとの経営指標は決算補足説明資料にて開示いたします。

レコードブック事業

2025/3期 **1,558**百万円 → 2026/3期 **1,445**百万円 → 2027/3期 **1,576**百万円
(前回開示) 2,760 2,850 –

- ・店舗数をフランチャイズ（FC）を中心に早期に合計400店舗まで増店する計画 （※セグメント別売上高）
 23/3期のFC増店数は未達となり出店計画を見直したため、前回開示と比較し減少
 →引き続き既存の加盟店による2店舗目、3店舗目の増店に注力。出店戦略はp.39を参照
 → 地域をよく知るFCオーナーのドミナント展開を推進。この方針に沿い、売上の大きい直営店が減少し、利益率の高いフランチャイズ店が増加することで、店舗構成が変化することに伴い、26/3期までの売上高は一時的に減少するも、ロイヤルティ収入の増加により、利益率は23/3期末時点より約10%程度増加見込み
 →増店による利用者数の増加と収支への影響については、p.40を参照

Webソリューション事業

2025/3期 **335**百万円 → 2026/3期 **377**百万円 → 2027/3期 **419**百万円
(前回開示) 380 500 –

- ・メディカルソリューションを中心に事業を拡大
- ・基盤となるケアマネジャーネットワーク強化のため、ケアマネジメント・オンラインの登録者増加施策を継続

ケアサプライ事業

2025/3期 **1,344**百万円 → 2026/3期 **1,377**百万円 → 2027/3期 **1,411**百万円
(前回開示) 940 990 –

- ・フルケア（連結子会社）、正光技建（連結子会社）の収支を改善
 正光技建の連結を前提としていない前回開示と比較し大幅に増加。顧客基盤の共有を進め、利益率を向上

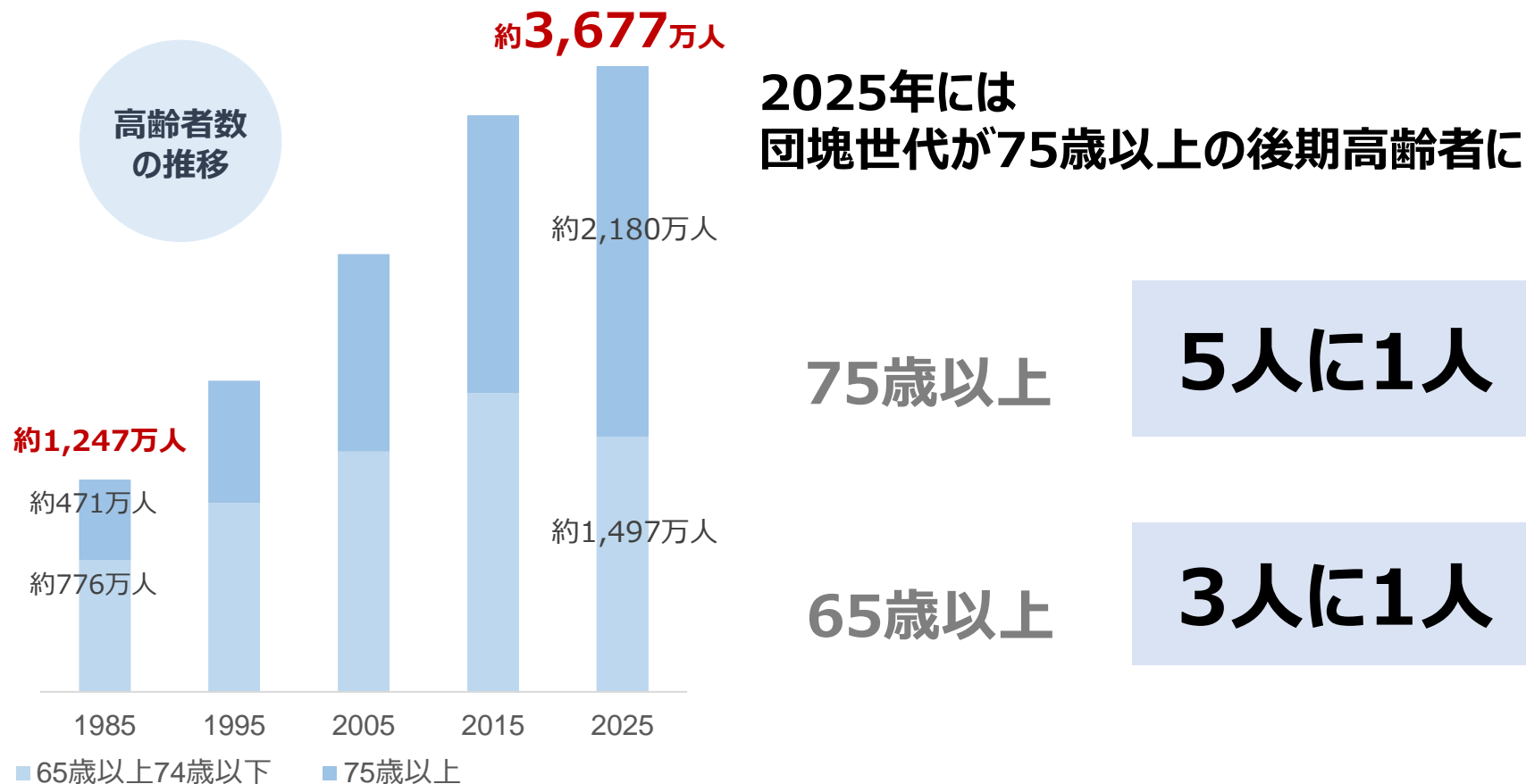
在宅サービス事業

2025/3期 **1,641**百万円 → 2026/3期 **1,646**百万円 → 2027/3期 **1,658**百万円
(前回開示) 1,550 1,560 –

- ・2022年4月にカンケイ舎（連結子会社）に事業分割。22年12月に譲受けた施設介護事業の収支を改善
 施設介護事業の譲受けを前提としていない前回開示から大幅に増加
 →分社化後、人材確保のための給与制度改革等の独自施策の推進による費用面の増加を見込み、
 前回開示と比較し営業利益はやや減少する計画

3. 事業環境

「2025年問題」で大量介護の時代へ



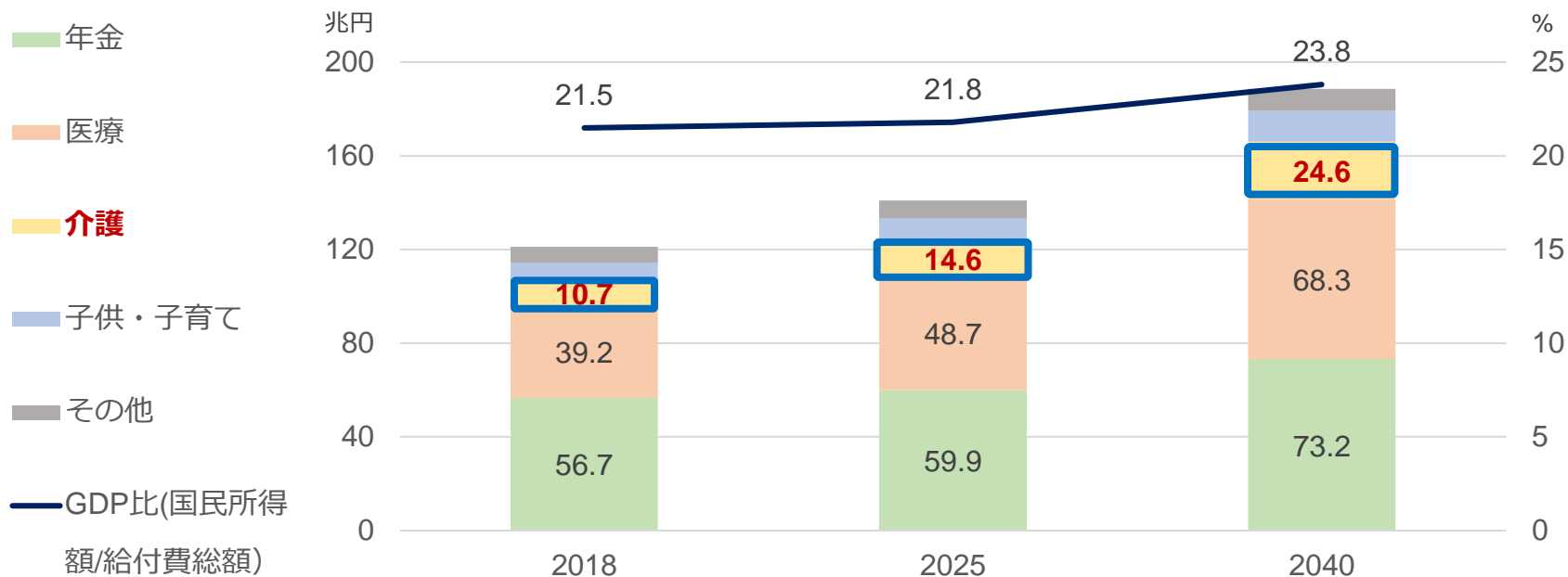
出典：総務省統計局

社会保障給付費は、2025年には **約140兆円** に
特に、介護は2018年度比約1.4倍の **約15兆円** にまで **増加** の見通し

➡「社会保障費の増大による財政悪化」が **社会課題** に

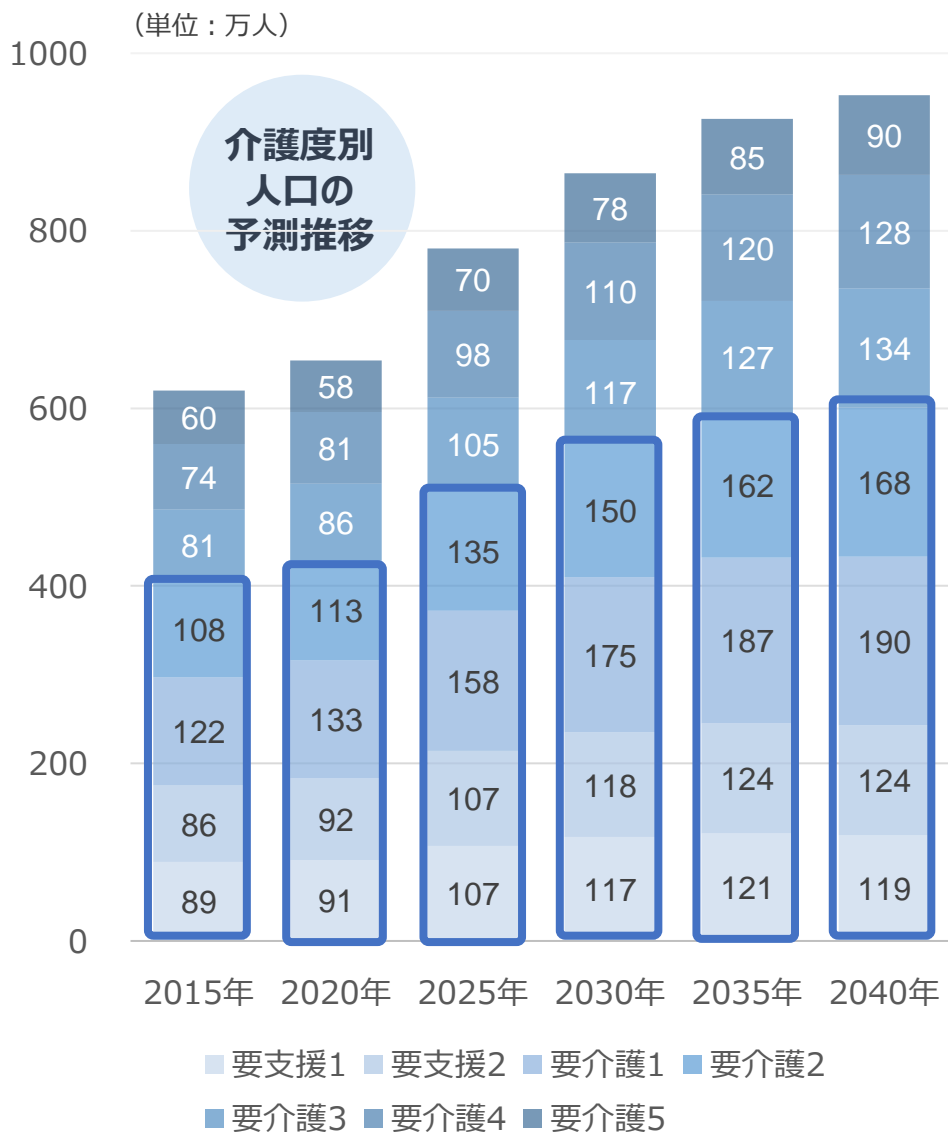
“健康寿命の延伸”により社会保障費を抑制することが必要

社会保障費用の推移



出典：内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見直し」

事業環境 - 要介護（要支援）認定者数の推移



レコードブック事業のメインターゲットである

要支援～要介護2は
要介護認定者全体の

約 **65%**

高齢化が加速する中で
要支援～要介護2認定者も増加

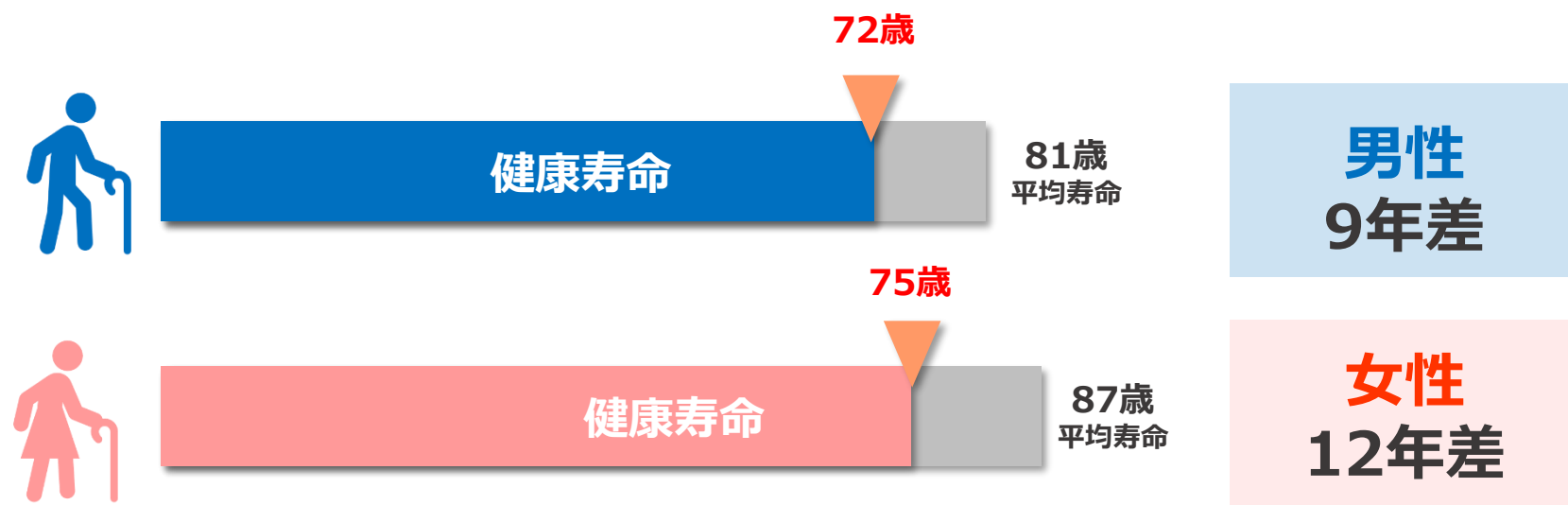
2015年には約405万人だった
軽度介護者が
2025年には約507万人となる見込み

“**健康寿命の延伸**”に向けて、
高齢者の健康維持・向上に重点を置く
短時間リハビリ型デイサービス
の需要は今後も高まる

出典：介護保険事業状況報告月報 GDFreaK！日本の要介護(要支援)認定者数の将来予測(2020年～2045年)

日本人の健康寿命と平均寿命の差は **約10年間**

平均寿命と健康寿命の間において、医療費・介護費の**負担が極めて大きくなる**

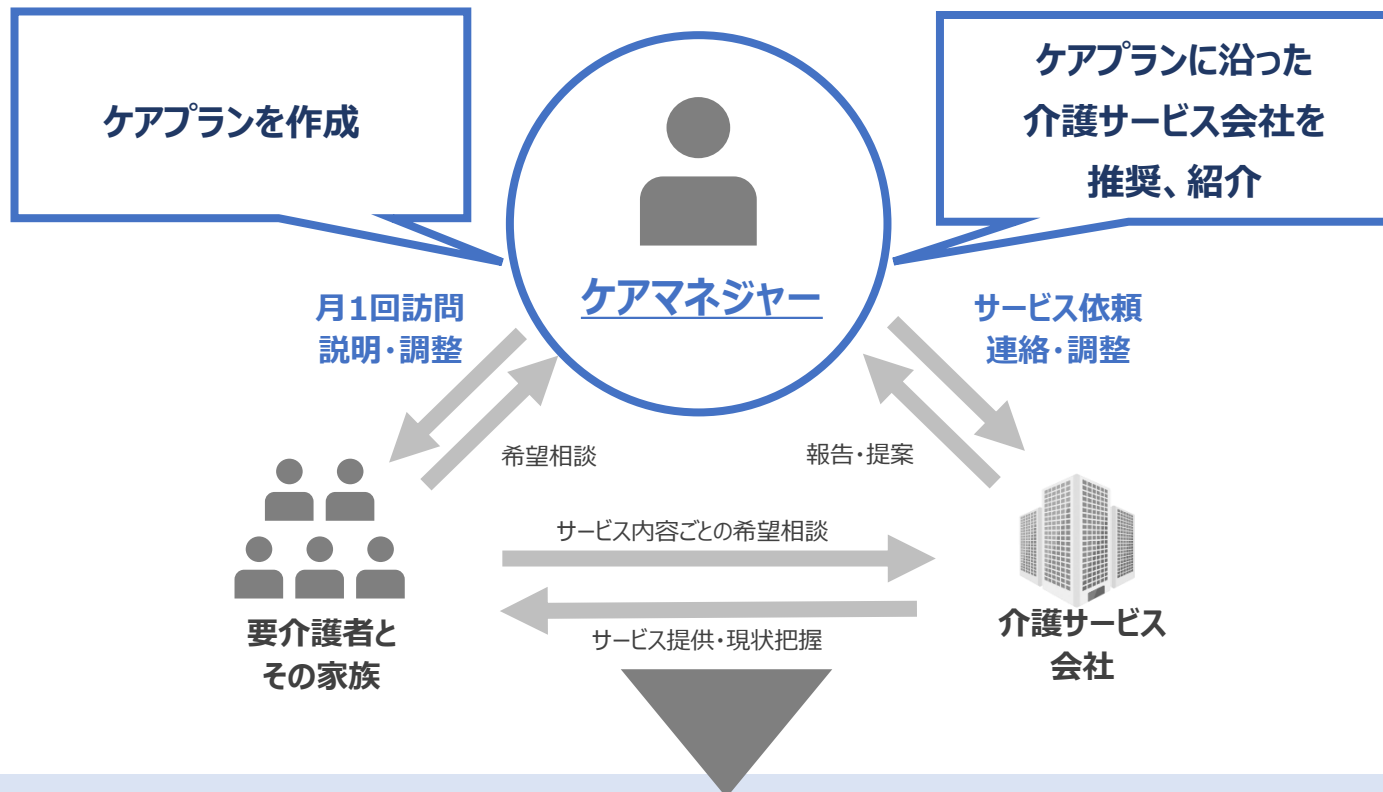


出典：令和4年版厚生労働白書

➡ この差を縮めること = “**健康寿命の延伸**” が

高齢者人口増加に伴う医療費・介護費を削減するために**重要**

介護サービスの決定においては、 ケアプランを作成するケアマネジャーの影響力が非常に大きい



4. 事業内容



運動指導に特化した3時間のリハビリ型デイサービス

(主な対象：要支援～要介護2までの介護認定者)

お客様の「**身体機能**」や「**健康**」の維持・回復・改善を目的に、ご自身の能力を最大限に引き出す運動プログラムを提案・実践し、**お客様に健康的な「自分らしい」生活を長く続けていただくための、お手伝いをする事業**です



レコードブックの**3**つの特徴

1 介護を感じさせない空間

フィットネスクラブやダンススタジオをイメージさせる介護を感じさせない外観・内装によって、デイサービスの利用が初めての方や介護サービスを受けることに抵抗がある方でも安心してご利用できます

2 専門的な運動指導

科学的根拠に基づいた本格的な運動プログラムを取り入れた運動指導サービスは業界内でも高いクオリティを誇り、ご利用者様ごとに利用目的や身体状況などを考慮した個別の目標やテーマを設定します

3 ホスピタリティ

明るく活動的なスタッフが、丁寧に礼儀正しく、おもてなしと活気にあふれた空間を演出して積極的にコミュニケーションを図り、ご利用者様に心身共にリフレッシュできる3時間を過ごして頂きます

<営業日>

営業日：月～金

※祝日は営業（年末年始を除く）

<サービス提供時間>

午前：09時00分～12時15分

午後：13時45分～17時00分

<一回当たりの利用人数>

定員：18名 1日：36名

※介護保険上の区分に準じた定員数

<人員配置>

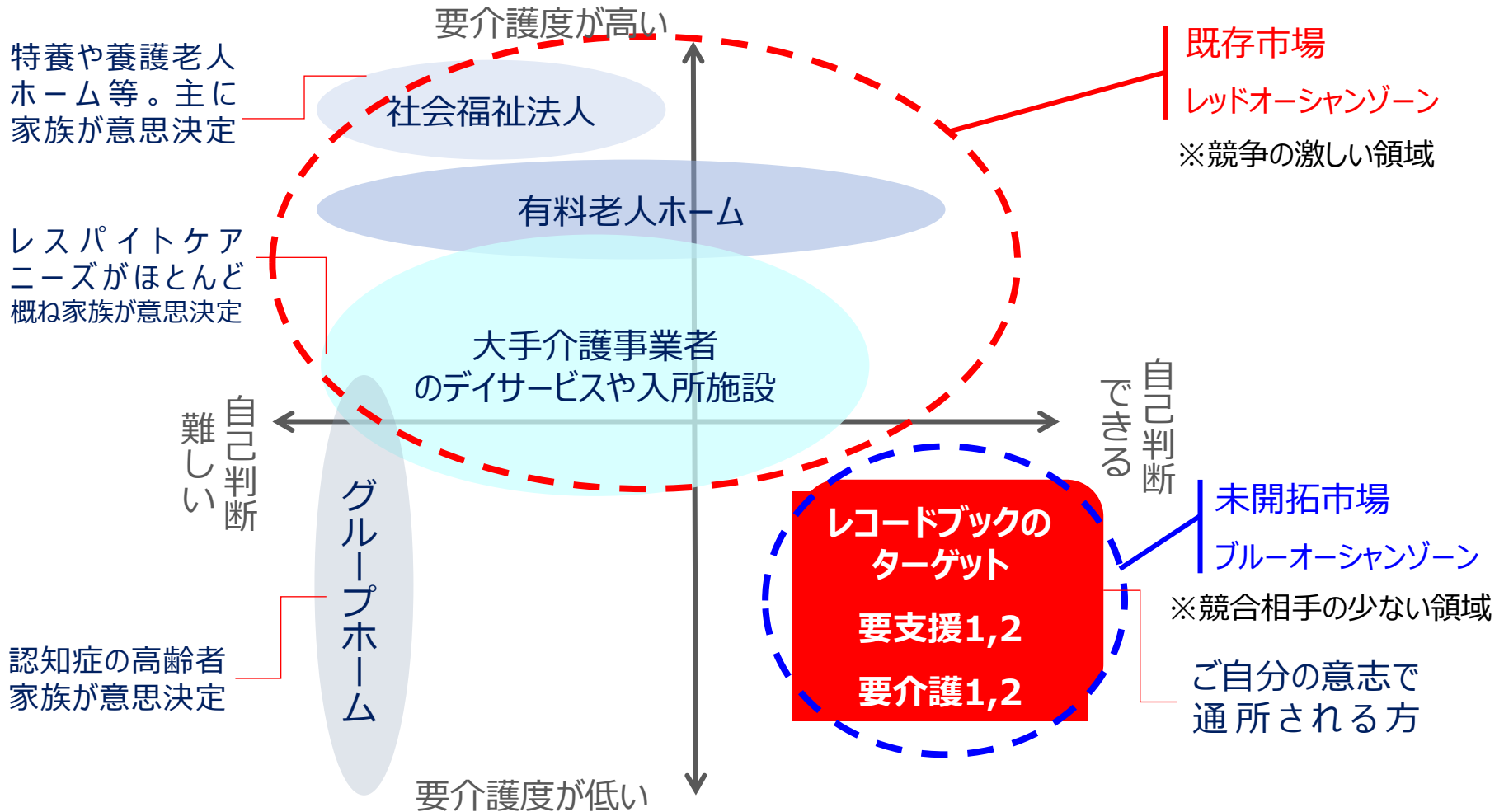
- ・施設管理者
- ・運動指導員
- ・生活相談員
- ・看護師

<商圏>

・商圏：約半径2.5km～3km



自己判断ができる軽度の介護認定者をターゲットとする事で 競合相手の少ない優位なポジションを獲得



リハビリ型デイサービス



対象者

要支援1～2、要介護1～2

サービス内容

- ・検温・血圧測定
- ・ウォームアップ
- ・集団運動
- ・ティータイム
- ・機能改善運動

効果目的

- ・利用者一人一人に合わせて目標を設定し、**介護認定の改善を目指す**
- ・対話型のプログラムで、利用者同士の交流を図り、メンタルの回復効果も

通常型デイサービス

要介護1～5


- ・入浴
- ・昼食
- ・排せつ介助
- ・機能訓練
- ・レクリエーション

- ・自宅での生活を続けられるよう、身体機能の維持を目指す
- ・他社との交流で社会的孤立感の解消や認知症予防を図る

Point

- 対象人数（レコードブック：450万人 通常型：500万人）に対してレコードブックのような短時間型のデイサービスは店舗数が少なく**市場規模の拡大余地**や**新規利用者見込数**は大きい

リハビリ型サービスにおける他社ブランドとの比較

	 Record book	Aブランド	Bブランド	Cブランド
プログラム内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団運動（個別プログラム） ・ 機能改善運動（筋トレ <ul style="list-style-type: none"> ・ 高機能振動マシン ・ 歩行ステップ等） ・ ティータイム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マシンによるリハビリ ・ 体操 ・ 座位での太極拳 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マシンによるリハビリ ・ 集団体操 ・ 手技トレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マシンによるリハビリ ・ 歩行プログラム
1回あたり人数	18名	15～20名	30～35名	14～18名
コミュニケーション	◎	△	○	△
個別プログラム	◎	△	○	△
店舗数	220店舗 （関東は約140店舗）	約205店舗 （関東は約80店舗）	約60店舗 （関東は約30店舗）	約75店舗 （関東は約10店舗）
運営企業	上場（当社）	非上場	非上場	非上場

Point

- 他社と比較して利用者同士・スタッフとの**コミュニケーション**が多い
- レコードブック独自のマシンを使用しない運動プログラムや、ティータイムなどの充実した内容で、利用者の**満足度**が高く**会員継続率**が高い



レコードブックの目指す姿

身体の健康 *Physical*

顧客基盤、データを活用した
「介護予防」「生活支援」



他の事業との連携により
店舗の非滞在時間も含めて
生活全般のサポートを推進

脳と心の健康 *Brain*

認知機能の向上を図る運動プログラム
スタッフとのコミュニケーションによる心の活性化



「リアル×WEB」
の強みを活かしたサービス等を創出

社会参加 *Identity*

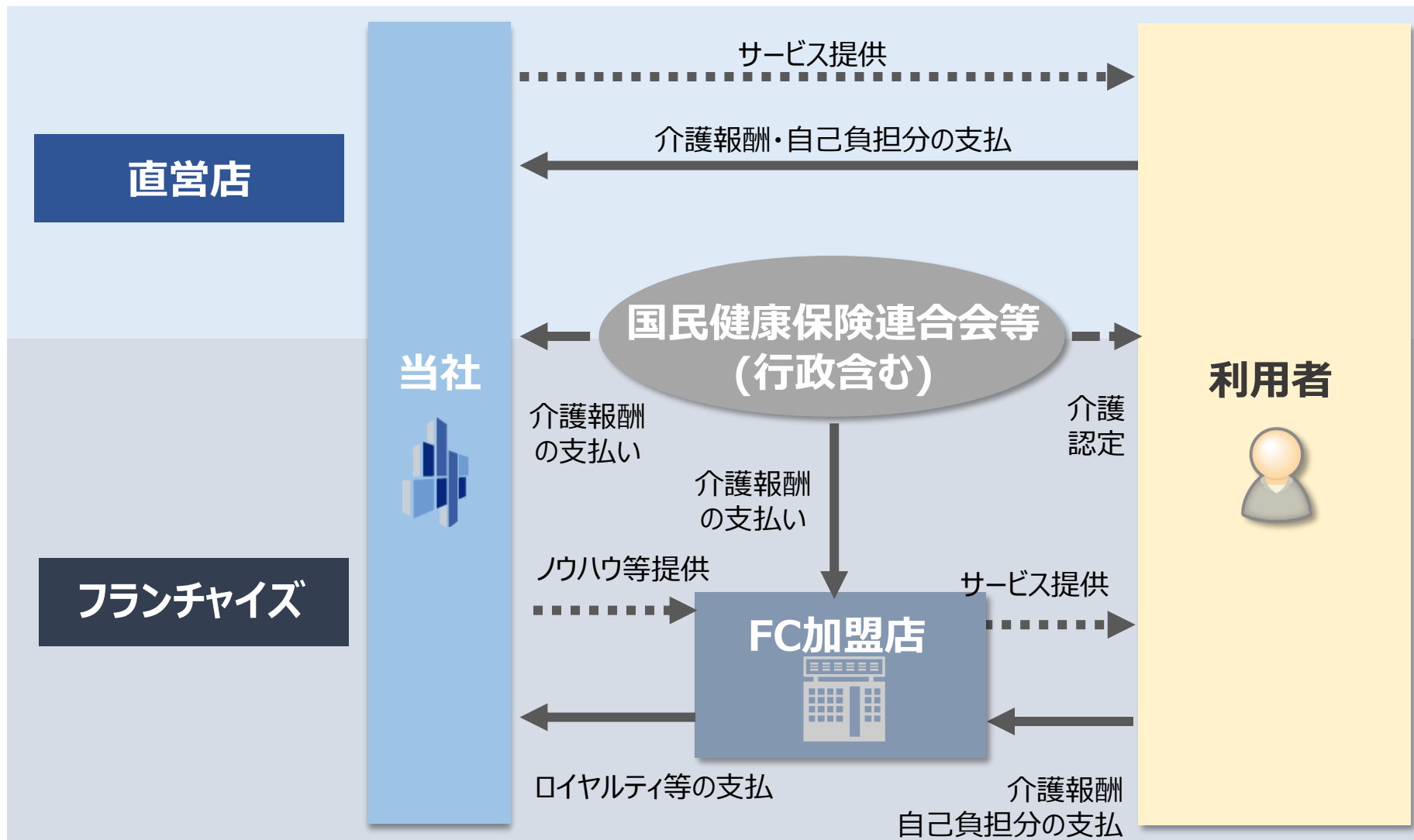
「自分らしく」活躍できる
「場」や「環境」の提供



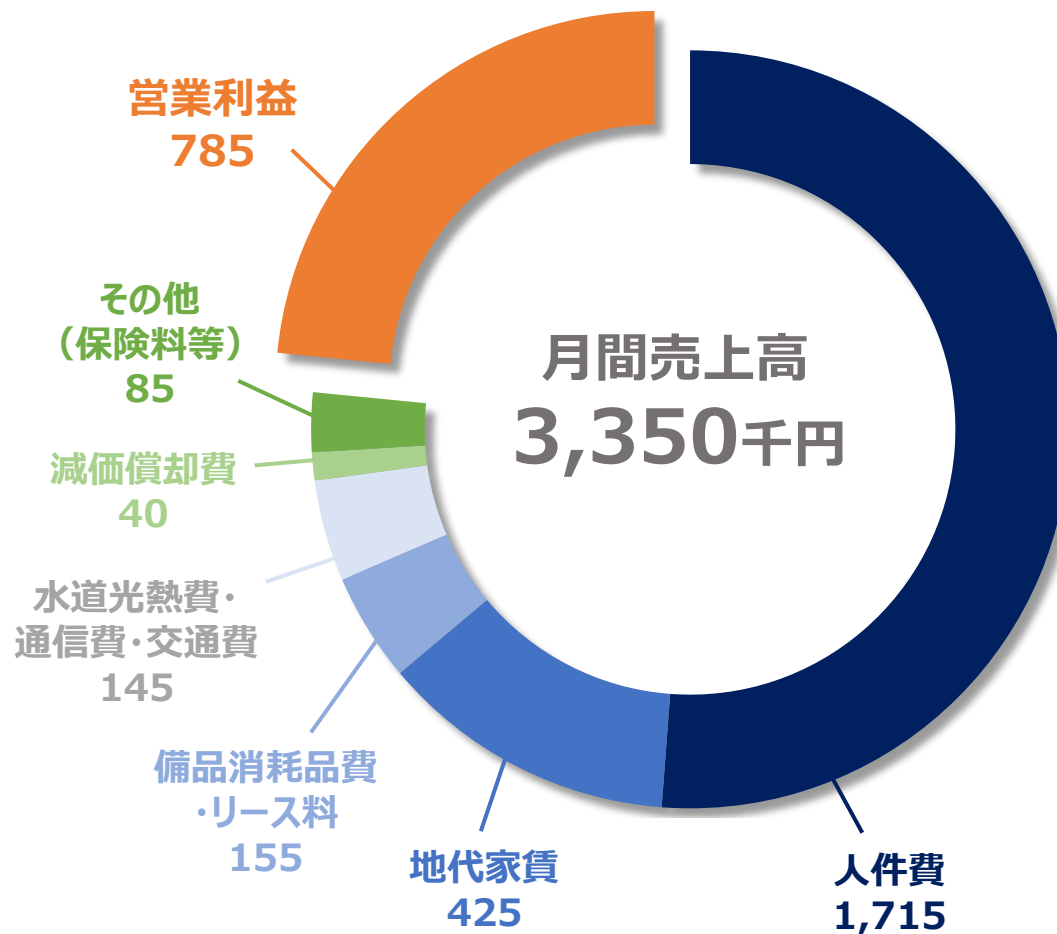
テクノロジーの活用や
他社とのアライアンスにより
アクティブシニアを含めた高齢者の
社会参加の推進を図る

“健康寿命の延伸”国内No.1のデイサービスへ

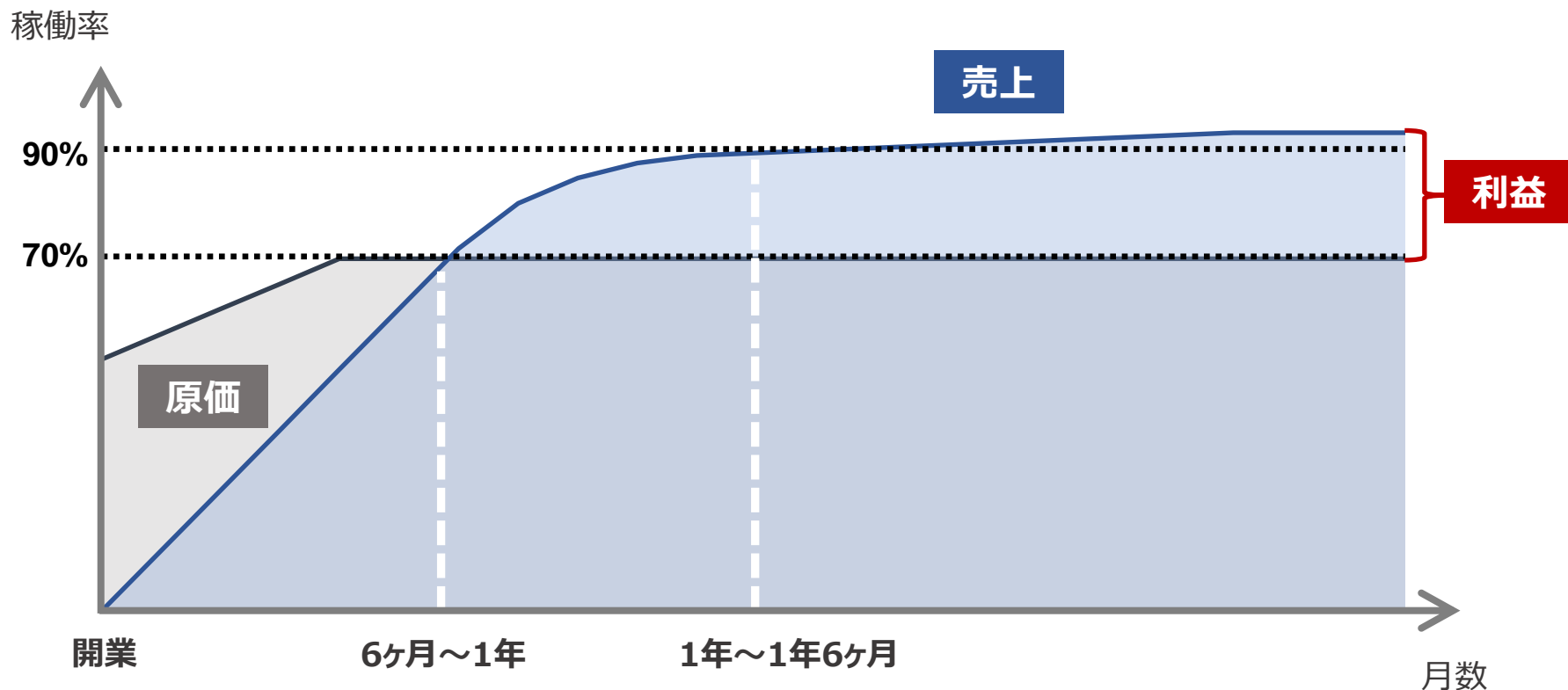
サービス等の提供 ←.....→ 介護認定 ←---→ お金の流れ ←==>



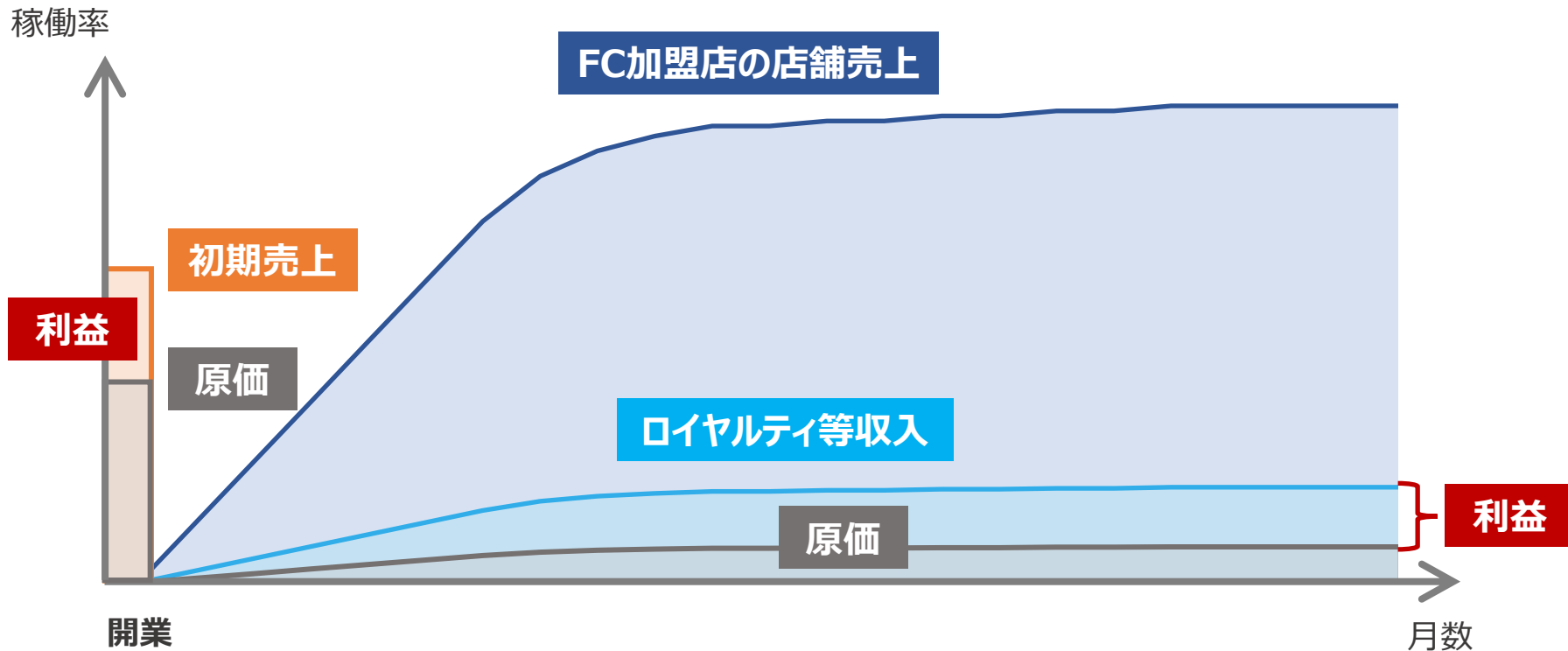
首都圏直営店1店舗当たり月平均



※フランチャイズも基本的に同様、ここからロイヤルティ等の本部への支払が発生



- ・ ご利用者は基本的に毎月サービスを継続していただけるため、開業から徐々に稼働率が高まる
- ・ 一方で人件費などの原価は稼働率70%前後で上限となる
- ➡ 約6ヶ月～1年で損益分岐点を上回り、開業から約1年～1年6ヶ月で稼働率90%前後となるまで上昇し、安定的に収益が獲得できるビジネスモデル

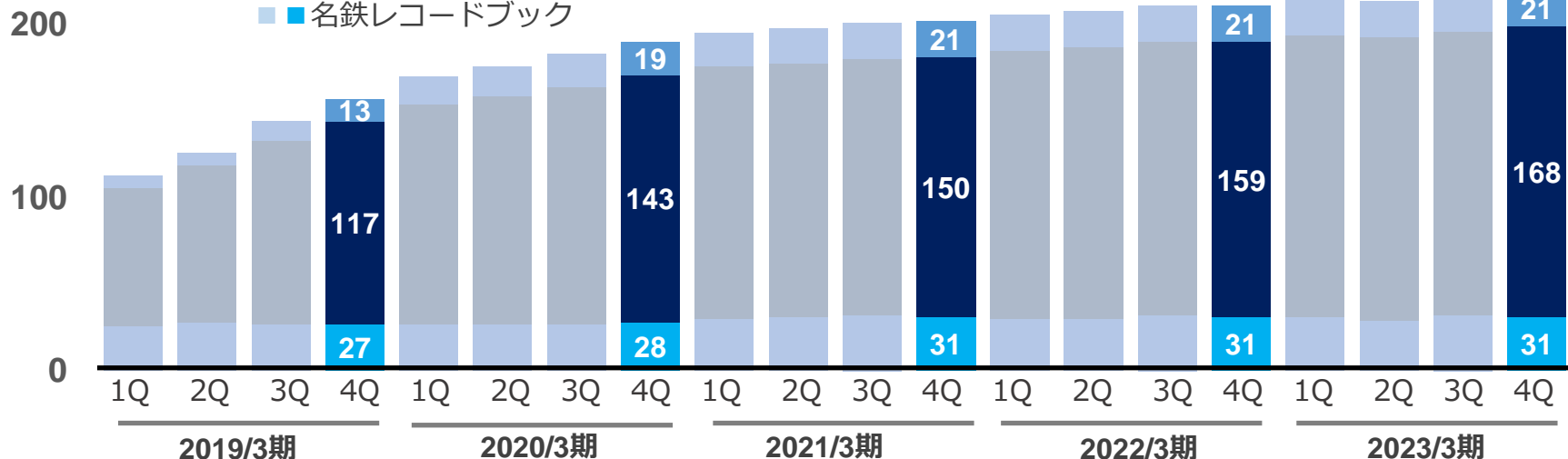


- ・ 開業約2ヶ月前から開業月にかけて、加盟金や開発支援費、教育訓練費などの初期売上による収入が発生
- ・ 開業後は、FC加盟店の店舗売上に応じた一定割合のロイヤルティ収入やシステム利用料、事務手数料などが継続的に収益となる

店舗数 (店)

■ 直営店
■ フランチャイズ
■ 名鉄レコードブック

全国 **220** 店舗



	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
新規	10	13	19	13	13
閉店	0	0	1	0	0
店舗計	113	126	144	157	170
FC化	1	0	2	0	0
直営化	0	0	0	0	0

■ **コロナウイルス感染症の影響が軽微となり、前期比で年間出店数は増加**

- ✓ 既存加盟店に対する増店施策を強化し、23/3期の年間出店数は前期を上回る
- ✓ コロナウイルス感染症拡大第7～8波の影響を受け、23/3期中の増店開設が遅延（24/3期に8店舗ずれこみ）した結果、前回（2022/6）開示の計画が未達に
- ✓ 更なる出店加速に向けて、翌期も増店施策を継続

— 介護支援専門員サイト —
ケアマネジメント
オンライン®

CARE MANAGEMENT ON-LINE

10万人のケアマネジャーが登録する 業務支援ポータルサイトを運営

ケアマネジャー業務に 欠かせないツールとして定着

ケアプラン、介護保険適用申請に必要な各種
帳票類、書類ひな型、各種マニュアルのダウン
ロードが可能

介護保険法の改正などの行政情報や介護関
係団体・企業の最新ニュースを発信

日本全国の介護サービス会社情報検索に加え、
ケアマネジャー同士での相談や質問等の情報交
換も可能

— 介護支援専門員サイト —
ケアマネジメント
オンライン®

高齢者に多い ケアマネジメントスキルアップ講座
疾患・症状編

片麻痺 (かたまひ)
ご利用者やご家族に、わかりやすく説明できますか?

ニュース CMOメディカル CMOたより 特集 業務ツール 事業所検索 コミュニティ キャンペーン 相談

カテゴリで絞り込む 検索

新着情報

- 【介護保険最新情報vol.998】接種に伴う人員基準の緩和「事...
- 【ケアマネ限定】ローソンのコーヒー1杯無料プレゼント
- 【無料セミナー】激変の24改定、今からケアマネが備えるべ...
- 【10月から実施】新たなケアプラン検証制度、居宅には*とば...
- 【高齢者の食事支援】自治体の取り組みについて
- 【スキルアップ講座】ケアマネが知りたい情報を専門家が解説

【福祉用具】確かな提案力ときめ細やかなサービスは、「聞き上手」な営業担当者から生まれる

最新ニュース もっと見る>

適切なケアマネジメントを...

特選！先週のニュースまと...

不当な報酬差！デイの入浴...

骨太方針、介...

掲示板 もっと見る>

最新 注目

皆さんは着替えど...

負担割合証

レシート伝送完了...

納得がいかない、...

結城教授の深掘り！
介護保険

ケアマネがおさえたい
介護保険の最新トピックを解説！

ログインしてください

無料会員登録はこちら >

ユーザー名 or 登録メールアドレス

パスワード

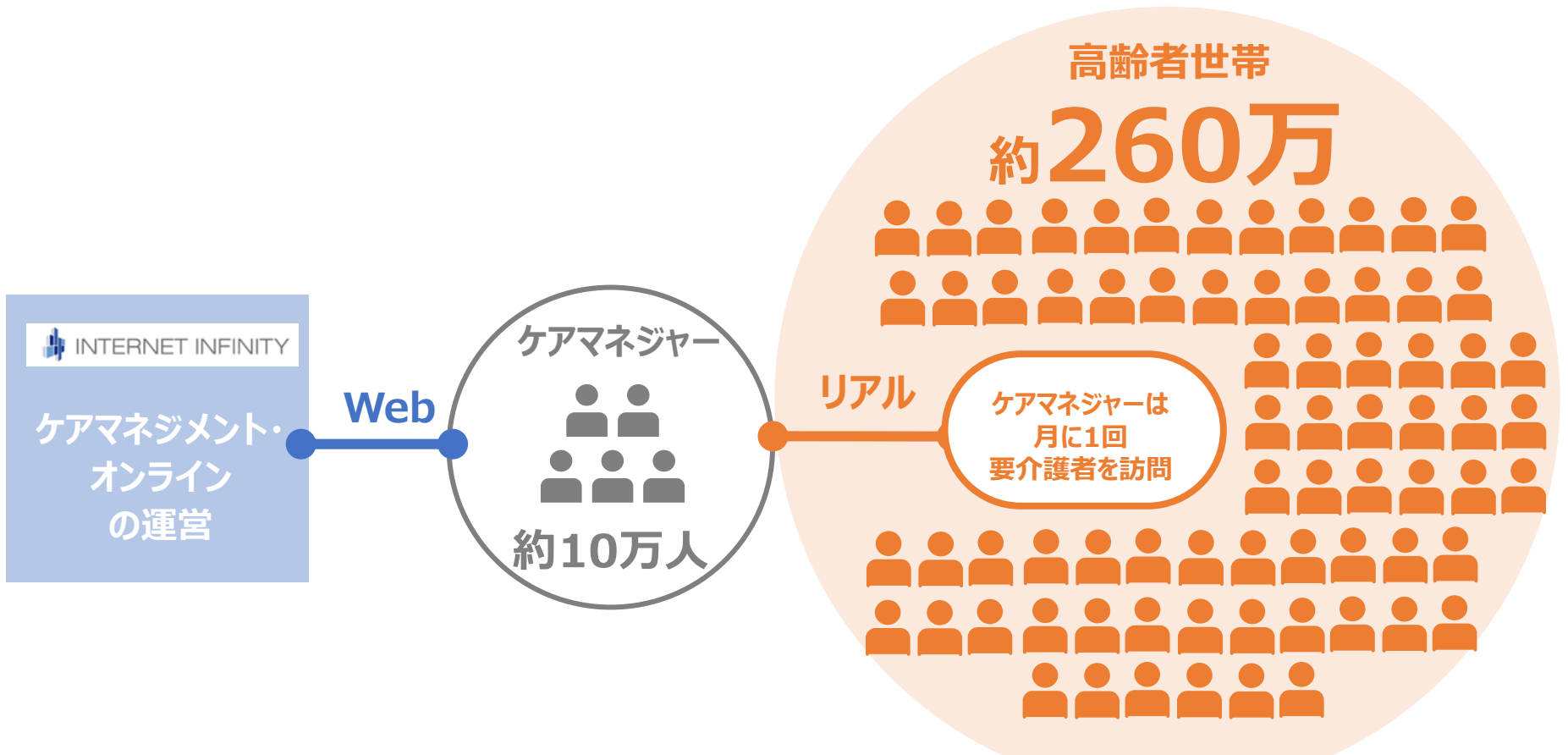
次回から自動でログインする

ログインする

※サイト利用会員総数 約17万人

全国約260万人の高齢者世帯にリーチできる ケアマネジャーネットワークでマーケティングを支援

当社はケアマネジメント・オンラインを通じて高齢者世帯とつながっている



* ケアマネジャー1名で約26名の高齢者を担当

シルバーマーケティング支援

「ケアマネジメント・オンライン」に登録しているケアマネジャーネットワークを活用したマーケティングリサーチやプロモーション支援。全国約260万の高齢者世帯にリーチ

➔ アンケート等による定性・定量調査や要介護高齢者へのサンプリング等を実施

メディカルソリューション

製薬メーカー、医療機器メーカー向けに疾患啓発や利用状況などのマーケットデータ提供を行う医療用薬品マーケティング支援サービス

➔ メディカル領域に特化したケアマネジャー会員向けのWebアンケートや、「ケアマネジメント・オンライン」内で啓発コンテンツを展開

仕事と介護の両立支援



働きながら介護をする方が増加する中で、介護が理由で離職・転職する方が増加

- ➔ 企業の福利厚生サービスをパッケージにして顧客企業の従業員向けに提供し、仕事と介護の両立を支援。2023年3月末現在、導入企業210社、会員数210万人超
- ➔ 人事担当者が全従業員の現状把握と対策の依頼を一元管理可能なシステムの提供を開始
 - 介護セミナー等の開催
 - 介護情報Webサイトの運営
 - 介護コンシェルジュ(電話やメールによるケアマネジャー紹介、介護施設紹介、介護保険申請代行等)

ケアサプライ事業

福祉用具レンタル・販売

福祉用具専門相談員が要望を聞き、個人利用者に提供

住宅改修工事

介護区分に合わせ、福祉住環境コーディネーターが快適な住まいを提供

住宅リフォーム工事

(株)正光技建の連結に伴い、個人利用者向けに居住環境のリフォーム、リノベーション事業を開始

介護保険外の領域へ事業ポートフォリオを分散し、長期的な収益力を拡大

➡ シニアライフ全般をサポートする事業として位置づけを整理



(2022年10月より連結子会社)

正光技建

広島県にて住宅リフォーム事業を展開
⇒顧客層の7割以上がシニア世代



営業ノウハウ

顧客基盤
共有



**フルケア
FULL CARE**

(連結子会社)

中国地方を中心に福祉用具貸与・住宅改修事業を展開



 Record book



福祉用具

レコードブック店舗で利用者への福祉用具貸与・販売サービスを開始
福祉用具の提案で、店舗の非滞在時間にも介護予防を推進



カンケイ舎

どのステージの要介護者も誰一人取り残さず、健康寿命延伸に取り組む
社会の実現を目指し、新たに施設介護事業をスタート

訪問介護事業

ヘルパーの訪問による介護サービス

専門資格を取得したホームヘルパーが
利用者様の様々なニーズに365日のバック
アップ体制で応対

■ 身体介護サービス

食事・入浴等のお世話、通院の介助など

■ 生活援助サービス

調理の準備・衣服の洗濯・買い物など

通所介護事業

利用者の通所による介護サービス

小規模施設で利用者様一人ひとりの状況を
細部まで把握し、要望に応じたきめ細かい
サービスを提供

■ 入浴、給食、介護、送迎サービス

■ 生活指導、健康状態の確認

■ 機能訓練 歩行訓練や手足の動作訓練、
体操やレクリエーションなど

居宅介護支援事業

ケアマネジャーによるケアプラン作成

ケアマネジャーが利用者の要望を伺い目標達
成に向けたケアプランを作成
サービスの利用開始後も毎月自宅に伺い、健
康状態の変化や不満・要望等を確認し調整



施設介護事業

住宅型有料老人ホームの運営

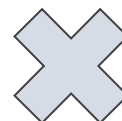
住宅型有料老人ホームにて、食事・入浴・
排せつ・機能訓練等の日常生活全般をサポート
する介護サービス等の提供

■ 訪問、居宅、通所介護事業所を併設



5. 成長戦略

事業	重点分野
レコードブック事業	<ul style="list-style-type: none"> FC増店戦略を中心に店舗を400店舗に拡大（店舗プラットフォームの構築） 他事業などとの連携による収益性向上
Webソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> メディカルソリューションの事業化 ケアマネジャー会員のアクティブ化による会員ネットワークの価値向上
ケアサプライ事業	<ul style="list-style-type: none"> グループ会社の専門性を活かした深耕拡大 レコードブック事業とのシナジー効果（周辺ニーズの取込み）による事業拡大 シニア向け住宅リフォームの強化
在宅サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設介護の運営ノウハウの取得 中重度要介護サービスへのチャレンジ（重度な要介護高齢者の健康寿命の延伸）



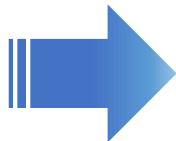
テクノロジー
<ul style="list-style-type: none"> →リアルで取得したデータの活用により既存事業の競争力を強化 →データとAIの活用などにより新たな健康寿命延伸ソリューションを創出 →当社のノウハウ及びアセットを活用した介護現場のDX化を推進

レコードブック 成功のポイント

- ・ 地域に密着し、ケアマネジャー等のステークホルダーと密接に連携
- ・ 地域を良く知るオーナーによるドミナント出店

これまで

新規オーナーの獲得

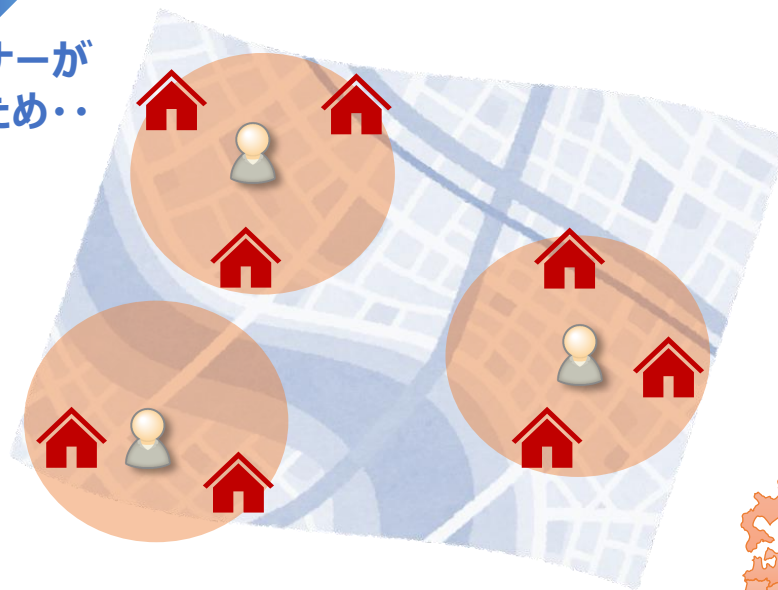


これから

既存オーナーによる増店



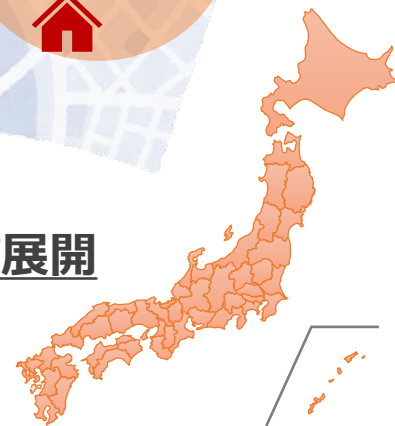
既存オーナーが
増加したため・・・



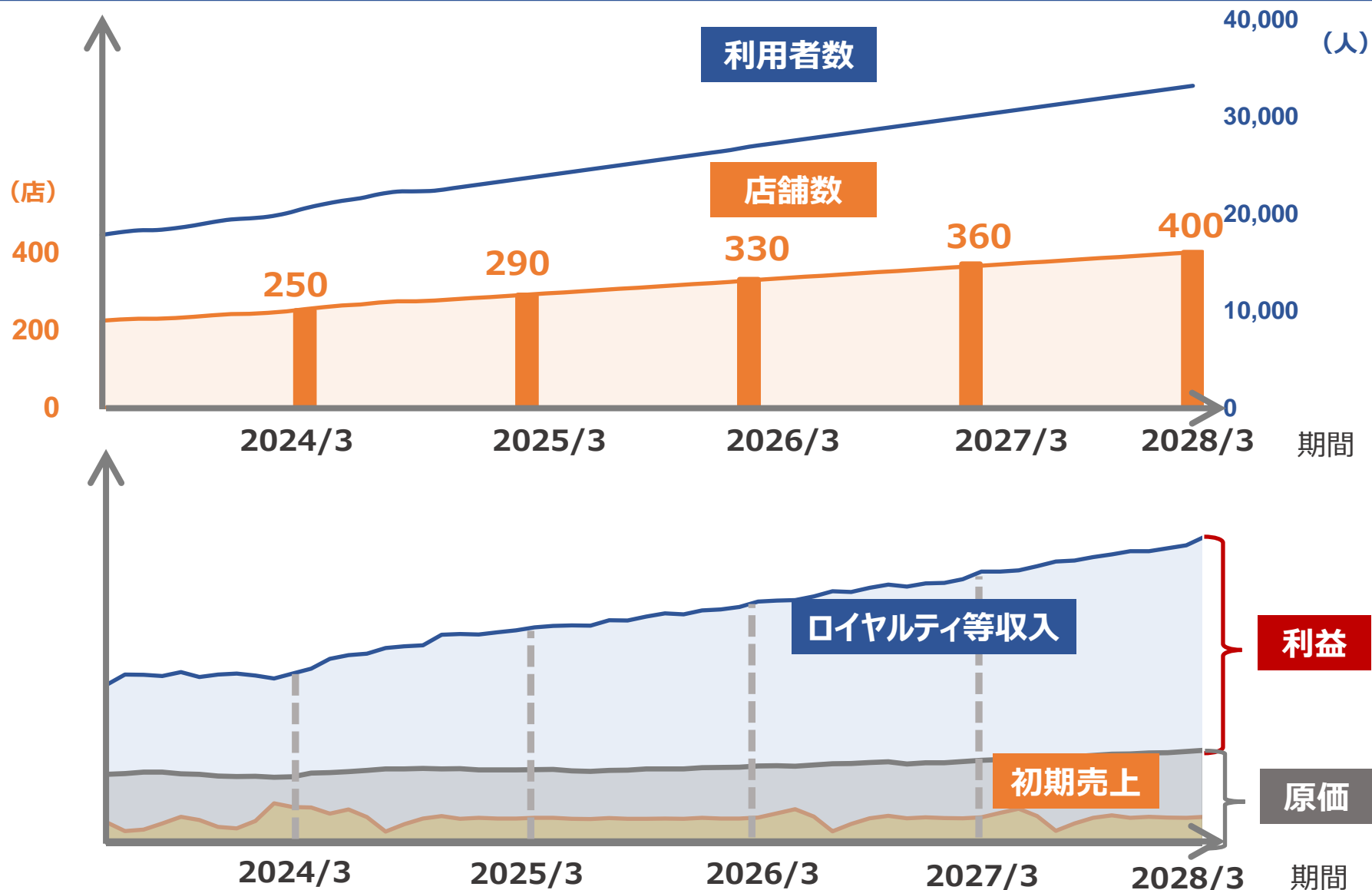
- ・ 既存オーナーの支援に注力し、FC店舗の収益力を強化
- ・ データやAIを活用したサービス等で他社との差別化を図る

加速度的に店舗展開

⇒⇒ レコードブックの全国展開による店舗プラットフォームを構築を目指す



レコードブック事業 - フランチャイズ全体 当社収支



※新型コロナウイルス感染症の影響等により23/3期末時点の総店舗数は、前回(2022/6)開示の計画に未達であったため、総店舗数目標400店舗の達成時期を前回開示(26/3期に400店舗)から見直し、出店計画を修正しております



既存の加盟店に対して業績向上の支援に力を入れることで、
2店舗目、3店舗目の出店を促し、今後4～5年で全国400店舗体制へ

2030年代目標

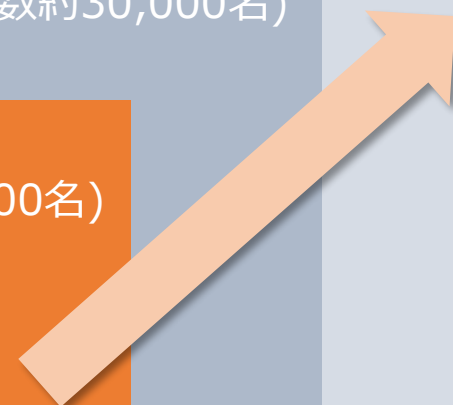
約**1,000**店舗 (利用者数約80,000名)

2027年度目標

約**400**店舗 (利用者数約30,000名)

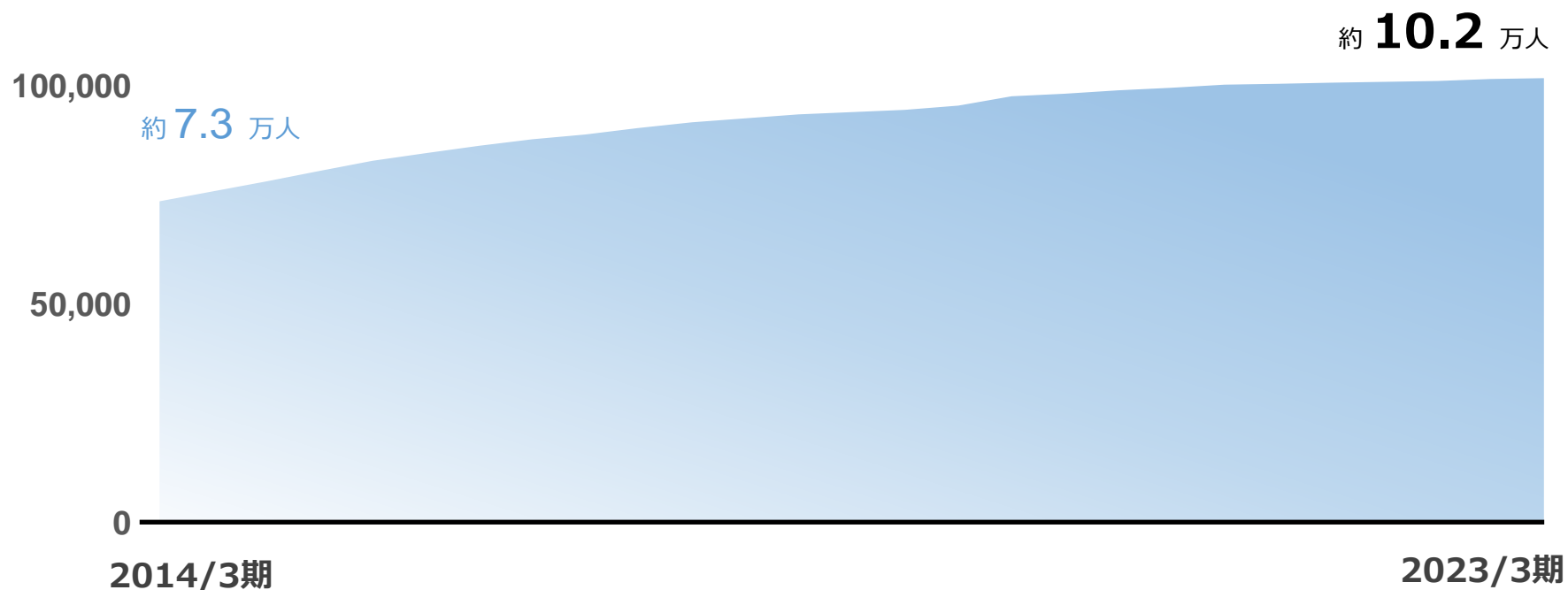
2023年度実績

220店舗 (利用者数約17,000名)



➡ 全国の**レコードブック店舗ネットワーク**を活かした“健康寿命延伸”に関する
介護保険外サービスを展開、収益基盤をさらに拡充

ケアマネジャー登録者数 (人)



■ ケアマネジャー会員数増加に向けた各種施策を実施し、順調に成長

- 配信コンテンツの拡充
 - ➡ 介護ニュースなどの専門記事をさらに充実
- 会員向けメールマガジンの充実
- 各種タイアップ企画等を実施



他企業とのタイアップや、ケアマネジャーにとってメリットのある情報やツールの提供を強化していくことで、会員数をさらに伸ばし会員基盤の価値向上へ

日本のケアマネジャー総数

約 **19** 万人

2025年度目標

約 **11** 万人

2022年度実績

約 **10.2** 万人



➡ レコードブック店舗ネットワーク × ケアマネジャー会員ネットワークの
アクティブシニアプラットフォームを活用した“健康寿命延伸”を支える生活支援サービスを創出

6. リスク情報

認識するリスクと対応策 ①

以下には、有価証券報告書「事業等のリスク」に記載の内容のうち、成長の実現や事業計画の遂行に影響する主要なリスクを抜粋して記載しております。

その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

なお、文中の将来に関する事項は、本資料提出日現在において当社が判断したものであり、将来において発生する可能性があるすべてのリスクを網羅するものではありません。

項目	可能性 影響度	主要なリスクと対応策
介護保険制度について	可能性 中	リスク レコードブック事業及び在宅サービス事業において、介護保険制度の改正及び介護報酬の改定により収益が減少するリスク
	影響度 大	対応策 介護保険制度に依存しない新規事業の早期立ち上げを目指します レコードブック店舗において、介護保険外サービスの提供を併せて行い、収益力を強化します
新規出店について	可能性 中	リスク レコードブック事業において新規出店が予定通り行われない場合、もしくは出店時期が何らかの事情により延期となった場合、店舗出店時の投資金額の回収が長期化するリスク
	影響度 中	対応策 外部環境の変化等により出店計画に無理がないかのチェックを進めるとともに、過去の新規出店で遅れが生じたケースの原因分析などを行い、出店計画について常に精査することで計画通りの出店が行える体制を整備します

認識するリスクと対応策 ②

項目	可能性 影響度	主要なリスクと対応策
競合について	可能性 中	リスク 介護福祉及び予防介護市場の事業者の拡大や大手企業の本格参入により、介護サービス利用者の獲得が激化するリスク
	影響度 中	対応策 長年の介護保険ビジネスの運営によるノウハウの蓄積や、ターゲット人口・競合事業所の状況・直営店の実績データ等を用いた当社独自のエリアマーケティングシステムの構築、利用者のモチベーションを高める優れた運動プログラムの確立、ケアマネジャーネットワークを用いたブランド戦略などにより差別化を図ってまいります
フランチャイズ ビジネスについて	可能性 高	リスク フランチャイズ加盟店の経営状況が芳しくない場合、ロイヤルティ収入の減少、当社への未払金の増加、当フランチャイズチェーンからの撤退等が生じるリスク 契約内容が変更され、加盟店及び当社の収益構造が変化することにより、フランチャイズチェーン展開が計画通りに実現できないリスク フランチャイズ加盟店に対する指導が十分に理解されず、又は当社の指導の及ばない範囲で苦情や芳しくない評判等が発生し、当社のブランドイメージが棄損するリスク
	影響度 中	対応策 専任のスーパーバイザーからきめ細かい指導を行うとともに、本部機能を強化しサポート体制を万全にすることで加盟店とのより強固な連携を図ります
有資格者及び人員 の確保について	可能性 中	リスク 有資格者による介護サービスが義務付けられているため、今後の事業拡大に際して十分な人員確保が困難となった場合又は人員の流出等が生じた場合、質の低下や継続提供が困難となる可能性や、人員確保のためのコスト負担増加等が生じるリスク
	影響度 中	対応策 年間を通して継続的な採用活動を行い、有能な社員の確保に努めるとともに、離職防止に向けて賃金・福利厚生などの制度面の継続的な見直しを進めます



INTERNET INFINITY

本資料の取り扱いについて

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email: ir@iif.jp

本資料の更新は今後、6月中を目処として開示を行う予定です